

日本遠隔医療学会雑誌投稿規程

(2021年6月改訂)

I. 投稿資格

日本遠隔医療学会雑誌（以下、本誌）は日本遠隔医療学会（以下、本会）会員が自らの学術的活動を公にするものであるが、非会員にあっても、本会の活動に賛同するものは投稿資格を有する。なお、投稿者は本会が定める以下の条件に同意したものと見なす。

なお、投稿者のうち本会との窓口となる著者を責任著者、その他の著者を共著者という。責任著者は投稿時点で有効な個人会員であること。

II. 掲載料金

編集委員会で掲載を許可された論文等の責任著者および共著者には、下記の条件に従い、掲載料金が科せられる。

- (1) 責任著者または共著者が本会正会員もしくは学生会員で、投稿年度と掲載年度の会費を納入済みである場合、その著者分の掲載料金を免除する。
- (2) 本会が寄稿を特別に依頼し、掲載料免除を承認した責任著者および共著者の掲載料金を免除する。
- (3) 責任著者は本会に属しない共著者分の掲載料金（1人10,000円）を支払うものとする。

III. 掲載料の請求

- (1) 掲載料金は、本会事務局が責任著者に共著者分を含め合算して請求する。
- (2) 掲載料金には支払期限を設ける。
- (3) 指定の期日までに支払われない場合は、責任著者および共著者に確認し、掲載を取り消す場合がある。

IV. 投稿にあたっての倫理

論文等の倫理的配慮には責任著者および共著者が責任を負うべきものである。倫理的配慮が著しく損なわれる場合は、既報も含め掲載を取り消すことがある。

臨床研究に関する投稿の場合は、下記各項を遵守する。

- (1) 臨床症例に関する報告では、関係者の人格権を尊重し、報告する内容の説明を行い、同意を得ることを原則とする。
- (2) 臨床研究の場合は、ヘルシンキ宣言（ヒトを対象とする医学研究の倫理的原則、1964年6月世界医師会総会）を基礎として文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」¹⁾に準拠し、被験者からのインフォームドコンセントおよび施設内倫理委員会による研究計画の承認を必要に応じて受け、承認されたことと承認番号を明記する。
- (3) 臨床研究に関する倫理審査を必要とする研究、または薬事に関する法的承認を求める機器および薬剤を使用した研究については、倫理委員会での審査を経なければならない。また、臨床試験登録公開システム（UMIN CTR等）に登録し、登録番号を明記する。

* 研究に関する指針について（厚生労働省ホームページ 2021年6月16日アクセス）

1) <https://www.mhlw.go.jp/content/000757566.pdf>

特に下記に当たる投稿（ミスコンダクト）については事実を確認し、必要な対処を行うことがある。

- (1) 既に他の学術誌などに掲載されたもの、あるいは掲載予定のものと著しく類似性のある論文等
- (2) 虚偽・事実歪曲・利益誘導など、公平性、公共性、学術性を損なう内容の論文等
- (3) 個人の人権、プライバシーを損なう内容の論文等

V. 利益相反（conflict of interest (COI)）の開示

投稿にあたっては、当該論文に関わる利益相反（COI）状態について、所定の形式により開示しなければなら

ない。利益相反状態は、論文末尾、謝辞または参考文献の前に記載する。規定された利益相反状態がない場合は、「利益相反なし」「No potential conflicts of interest were disclosed.」などの文言を同部分に記載する。

なお所属機関内の正規手続きに基づく投稿では、所属機関について利益相反状態の開示は不要である。

報告内容は役員・顧問等、株保有、特許使用料、講演料、原稿料、研究助成金、奨学寄付金、寄附講座所属、旅費・贈答品等の該当項目につき、関係先団体名である。

COI 状態があることは問題ではない。COI 状態を適切に申告しないことが問題である。投稿時の COI の申告は本学会による審査を目的とせず、記録を目的とするものである。

VI. 掲載の採否

原著および総説掲載の採否は 2 名以上の審査員、短報および報告では 1 名以上の審査員、その他種別では適宜人数の審査員の審査結果に基づき編集委員会が決定する。

VII. 原稿の作成

(1) 投稿種別による要件

1. 原著 Original Articles

- ・科学的妥当性の高い方法で得られた新しい知見であること。
- ・「はじめに」「方法」「結果」「考察」「まとめ」「参考文献」の項目に分けて記述すること。
- ・文字数は、日本語の場合 12,000 字以内、英語の場合 4,000 words 以内とすること。

2. 総説 Reviews

- ・諸課題についての総括的論述（一方向からのみの論述でないもの）であり、かつ科学的妥当性のある論述であること。
- ・論述するにあたっての適切な項目に分けて記述すること。
- ・文字数は、日本語の場合 12,000 字以内、英語の場合 4,000 words 以内とすること。

3. 短報 Short Communications

a) 調査・事例報告 Case Reports

- ・この分野における重要な調査報告あるいは興味深い事例の報告であること。
- ・「はじめに」「事例」「考察」「まとめ」「参考文献」の項目に分けて記述すること。
- ・文字数は、日本語の場合 8,000 字以内、英語の場合 2,500 words 以内とすること。

b) 座談会報告 Symposium Reports

- ・この分野における重要な問題点について座談会などを行い、その内容などを報告するもので、広く会員の関心を喚起するものであること。
- ・日時、場所、座談会の主催者、および発言者名を記しての報告であること。
- ・座談会の趣旨、各発言の内容を過不足なく記述しての報告であること。
- ・文字数は、日本語の場合 6,000 字以内、英語の場合 2,000 words 以内とすること。

c) ユーザーへのインタビュー報告 Interview Reports

- ・この分野において、現にサービスを受けている複数の市民（消費者）の声を、相対立する意見も公平に扱う立場で取り上げる報告であること。
- ・日時、場所、インタビューの氏名、および発言者名を記しての報告であること。
- ・インタビューの趣旨、各発言の内容を過不足なく記述しての報告であること。
- ・発言者の氏名および発言内容等の掲載について、本人が本学会誌に公表することに同意している旨を「発言

者の同意」として本文の最終部分に項を立て記載すること。

- ・発言者を匿名とする特別の事情がある場合には編集委員会の協議を必要とする。
- ・文字数は、日本語の場合 4,000 字以内、英語の場合 1,200 words 以内とすること。

d) 学術大会 A 演題

- ・学術大会 A 演題投稿規程に沿って作成する。
- ・本文は題名・著者・所属・要旨・本文・参考文献を含めて 8,000 字以内とする。ただし、図表は 400 字（仕上がり 1/8 ページ）、1,600 字（仕上がり 1/2）に相当するので注意すること。

4. 報告 Reports

- ・本会の発展に寄与する報告であり、本会が公式に認定する分科会（趣旨、年次計画、開催事項、調査事項、成果等）、本会と関連して活動する研究班や調査事業などの報告とする。

5. 編集者への手紙 Letters to the editor

- ・本誌に掲載された論文に対する意見や学術上の重要なトピックスについての意見など、編集者および読者に伝えたいことを簡潔に記述したものであること。
- ・文字数は、日本語の場合 800 字以内、英語の場合 250 words 以内とし、参考文献は 5 編まで、図表は 3 つまでとすること。

6. 特集など

- ・本会が主催する学術大会やシンポジウム等の内容を論文として特集する場合、および本会が主導して各時代のトピックスを一連の論文として特集する場合には、適宜、論文審査方針および編集方針を定め、その号の全体あるいは部分として本学会誌に掲載する。

7. 抄録 Abstract

- ・本会が主催する学術大会やシンポジウム等の採択済みの抄録（研究報告・事例報告）を再録した増刊を発行することがある。各論文審査や編集に当たり、抄録（研究報告・事例報告）のみの募集でも英文タイトルとキーワードを必須とする。なお原著、総説、短報、報告等の抄録の部分で、既に刊行されたものは再録の対象ではない。
- ・抄録（研究報告・事例報告）は単独の投稿を受け付けない。学術大会やスプリングカンファレンス等で募集するものである。学術大会等事務局は、この規程に従って募集する。

(2) 言語

論文を記述する言語は、日本語または英語とする。日本語で記述した場合には、以下の項目につき、英語表記を添えること。

- ・著者
- ・所属機関
- ・題名
- ・要旨（250 語字以内）
- ・キーワード（一般化された用語で 5 語以内）

(3) 原稿の形式

すべての投稿種別において、本会ホームページ、または学術大会ホームページから投稿書式をダウンロードし、原稿の 1 ページ目と 2 ページ目に、下記の内容を記入してください。ただし、報告 (Report)、編集者への手紙 (Letters to the editor) に関しては、要旨 (Abstract)、キーワード (Keywords) は省略可とする。

1 ページ目：

- ・著者（全員） 10名以内とする
- ・所属機関（全員）
- ・Author（All）
- ・Institution（All）

2 ページ目：

- ・題名 和文論文の場合は必須／英文論文の場合は不要
- ・要旨（800字以内） 和文論文の場合は必須／英文論文の場合は不要
- ・キーワード（一般化された用語で5語以内） 和文論文の場合は必須／英文論文の場合は不要
- ・Title 和文論文・英文論文共に必須
- ・Abstract (less than 250 words) 和文論文・英文論文共に必須（ネイティブチェックを受けたもの）、但し学術大会A演題の場合は任意
- ・Keywords (within 5 words) 和文論文・英文論文共に必須

- ・本文はMicrosoft Wordで作成し、文字サイズは10ポイントとする。ファイル名はdocumentとする。
- ・漢字、ひらがな、カタカナは全角で、数字、アルファベット、英語は半角で記入する。
- ・日本語本文は、「x x x x、x x x x。」（、は全角）、英語本文は「xxxx, xxxx.」（カンマの後に半角スペース1個、ピリオドの後に半角スペース2個）で記入する。
- ・表はWord、Excel、JPEG等で作成し、ファイル名はtable1、table2・・・とする。
- ・図はPowerPoint、グレースケール300dpi以上のJPEG等で作成し、ファイル名はfigure1、figure2・・・とする。
- ・図表のタイトルは日本語25文字以内、英語8words以内、図表の説明は日本語50文字以内、英語10words以内とする。
- ・図表は合計10枚以内を目安とする。ただし、図表は400字（仕上がり1/8ページ）、1,600字（仕上がり1/2）に相当するので注意すること。
- ・図表でサイズが著しく大きいものは、扱いかねる場合があるので注意する。
- ・本文末尾に、利益相反（例：申告すべき利益相反はない、責任著者は〇〇株式会社より研究助成金を受理している等）と、研究補助金（研究補助金等を受けた場合は補助金名称）を記入すること。
- ・謝辞は必要に応じて記入すること。
- ・原稿（document、table、figure）を投稿システムでアップロードすること。
- ・原稿ファイルの合計サイズは10MB以下とすること。

(4) 参考文献の表記方法について

1. 著者名：日本語の場合も英語の場合も、著者は3名以内の記載にすること。3名以上にわたる場合は、以下の例を参考とすること。

- ・日本語 → 森田浩之，酒巻哲夫，山田桃子，他。
- ・英語 → Morita H, Sakamaki T, Yamada M et al.

参考文献は、本文中の引用順に末尾に一括して記載し、本文中には文献記載番号を片括弧に入れて上付きとし、引用箇所に入ること。

2. 雑誌名：雑誌に関する表記は

- ・日本語 ⇒ 著者名. タイトル. 雑誌名 発行年；版：ページ.
（ピリオド、コロン、スペースは全角。氏と名の間はスペースを入れない。雑誌名と発行年の間

にスペースを1個入れること)

・日本語による記載例:

神谷誠, 郡隆之, 新井桃子, 他. Web データベースシステムを用いた静止画像テレパソロジー.
日本遠隔医療学会雑誌 2006; 2(1): 27-32.

・英語 ⇒ Author. Title. Name of the journal Year; Edition: Page.

(ピリオド、コロン、スペースは半角。雑誌名と発行年の間に半角スペースを1個入れること)

・英語による記載例:

Klaus K, Gian K, Dominik R et al. New developments in digital pathology: From telepathology to virtual pathology laboratory. Stud Health Technol Inform 2004; 105: 61-9.

3. 書籍: 書籍に関する表記は

・日本語 ⇒ 著者名. 書籍名, 版. 出版都市: 出版社, 発行年.

(ピリオド、コロン、スペースは全角)

・日本語による記載例:

大腸癌研究会編. 大腸癌取り扱い規約, 第7版. 東京: 金原出版, 2006.

・英語 ⇒ Author. Title, Edition. City, Nation: Name of the press, Year; Page.

(ピリオド、コロン、スペースは半角)

・英語による記載例:

William D. Travis, Elizabeth Brambilla, Curtis C. Harris et al. Tumours of the Lung, Pleura, Thymus and Heart. Lyon, France: IARC Press, 2006.

4. Webs サイト: ホームページに関する表記は

・日本語 ⇒ 著者名. 所属機関名. 題名. (引用した年月日). URL: <http://www.----->.

・日本語による記載例:

神谷誠. 群馬大学医学系研究科病態病理学. Web を利用した遠隔病理診断支援システムの開発およびその有効性と限界. (2007年1月4日引用).

URL: <http://www.medical-e.net/telemedicine/telepath/93path.pdf>

・英語 ⇒ Author. Institution. Title. (Cited date). Available from URL: <http://www.----->.

・英語による記載例:

Larry An. The Real U: A Web-based Intervention to Reduce College Smoking. (Cited 27 December 2006).

Available from URL: <http://www.mednetcongress.org/ocs/viewabstract>.

* 日本語の場合も英語の場合も、引用したホームページの内容について、本文中に注釈または要旨として簡単にまとめて記述し、URLが他に変更されても他の研究者に内容が伝わるよう配慮すること。

5. 学術大会論文集等: 大会論文集 (大会抄録集) に関する表記は

・日本語→著者名. タイトル. 学会名 第〇回〇〇大会論文集 発行年: ページ.

(ピリオド、コロン、スペースは全角。氏と名の間はスペースを入れない。学会名、論文集と発行年の間にスペースを1個入れること)

・日本語による記載例:

松崎竜児, 山本乃之, 逢坂公一. 病院間データ連動を活用した在宅透析管理ネットワークシステムの有用性. 日本医療情報学会 第 31 回医療情報学連合大会論文集 2011 : 775-778.

6. 大学紀要：大学紀要（学校紀要）に関する表記は

- ・日本語→著者名. タイトル. ○○大学○○学部紀要 発行年；第○巻第○号（：ページ）.
（ピリオド、コロン、スペースは全角。氏と名の間はスペースを入れない。紀要と発行年の間にスペースを 1 個入れること）
- ・日本語による記載例：
小川晃子, 狩野徹, 佐々木淳, 他. ICT を活用した高齢者生活支援型コミュニティーづくりプロジェクト実践報告. 岩手県立大学社会学部紀要 2011 ; 13 : 65-69.

7. 行政通知等：省庁（都道府県）の通知類に関する表記は

- ・日本語→○○省○○局（△△県△△課）. タイトル. 発行年；文書番号（：ページ）.
（ピリオド、コロン、スペースは全角）
- ・日本語による記載例：
厚生省健康政策局. 情報通信機器を用いた診療（いわゆる「遠隔診療」）について. 1997 年（2011 年一部改正）；健政発第 1075 号.

8. 法令：法令類に関する表記は

- ・日本語→法令名. 発行年；法律番号；関係条項番号.
（ピリオド、コロン、スペースは全角）
- ・日本語による記載例：
個人情報保護に関する法律. 2003 年；第 57 号；第 3 章第 2 節第 8 条.

VIII. 投稿方法

本会ホームページ、または学術大会の投稿システムから必要事項を入力して、原稿（document、table、figure）を添付して投稿すること。

IX. 投稿後の注意事項

編集委員会より 2 週間以内に受領の知らせが届かない場合には、メールにて下記に問い合わせること。

問合せ先：日本遠隔医療学会雑誌編集委員会事務局 jttajournal@j-telemed-s.jp

X. 著作権

本誌に採録決定された論文等（以下、論文とする）の著作権は、本会に帰属する。

投稿に際しては、論文として採録された場合に当該原稿の著作権が本会に帰属することを、著者全員が同意しているものとみなす。したがって投稿者（責任著者）は、共著者全員に本投稿規程を示し、了解を得た上で投稿システムの著作権の項目をチェックすること。

以上

Submission guidelines for the *Japanese Journal of Telemedicine and Telecare Association*

(Revised in June 2021)

I. Eligibility to submit

The *Japanese Journal of Telemedicine and Telecare Association* (hereafter, “the Journal”) offers a platform for members of the Japanese Telemedicine and Telecare Association (hereafter, “the Association”) to make their academic activities public. However, even if they are not members, those who support the activities of the Association are eligible to submit articles. The contributor shall be deemed to have agreed to the conditions listed below stipulated by the Board.

Among those submitting, the author who serves as the point of contact with the Association is called the corresponding author, and other authors are called the co-authors. The corresponding author should be a member of the Association at the time of submission.

II. Publication fee

After your article is accepted, your corresponding authors will be charged for publication fee as follows:

- (1) If the corresponding author or co-author is a regular member of the Association or a student member and has already paid membership fees for the year of submission and year of publication, the publication fee for those authors are waived.
- (2) Corresponding authors and co-authors who have been specifically requested by the Association to make contributions will have their publication fees waived once the waiver has been agreed.
- (3) The corresponding author will be charged the publication fee (JPY 10,000 per person) for co-authors who do not belong to the Association.

III. Request for publication fees

- (1) The publication fee shall be invoiced by the Secretariat of the Association to the corresponding author, including fees for co-authors.
- (2) A payment deadline shall be set for the publication fee.
- (3) If the payment is not made by the specified date, the corresponding author may be contacted and the publication may be cancelled.

IV. Ethics in publication

The corresponding authors and co-authors are responsible for the ethical considerations of the paper. If ethical considerations are significantly lacking, publication may be cancelled, including previous reports on the same research.

In the case of a clinical research contribution, the following points must be observed:

- (1) In the reporting of clinical cases, the authors must respect the moral rights of the persons concerned, explain the content of the report and obtain consent.
- (2) In the case of clinical research, the authors shall clearly state that, based on the Declaration of Helsinki (Ethical Principles for Medical Research for Human Subjects, World Medical Association, June 1964), their study has been approved in accordance with the “Ethical Guidelines for Medical and Health Research Involving Human Subjects”¹⁾ of the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology, Ministry of Health, Labour and Welfare, and Ministry of Economy, Trade and Industry, and that the consent of the subjects of the experiment and approval of the research plan by the institutional ethical committee have been

obtained as needed, and its approval number should be noted.

- (3) Studies that require an ethical review of clinical research, or that use devices and drugs that require the legal approval of pharmaceuticals, should be reviewed by an ethics committee. In addition, these studies will be registered in the disclosure system for clinical trial registration, and its registration number should be noted. (e.g., UMIN CTR).

* Guidelines for Research (website of the Ministry of Health, Labour and Welfare, accessed June 16, 2021):

1) <https://www.mhlw.go.jp/content/000757566.pdf>

For submissions (misconduct) that may fall under the following categories, the facts will be confirmed, and necessary measures may be taken.

- (1) Papers already published in other scientific journals, or those that are remarkably similar to those planned for publication
- (2) Papers that compromise fairness, the public good, and the good of the academe, such as those containing falsehoods, factual distortions, or those that result in personal profit
- (3) Papers and other writings that damage the human rights and privacy of individuals

V. Disclosure of conflicts of interest

The submission must disclose the status of the paper with respect to conflicts of interest in the prescribed form. Conflicts of interest should be noted at the end of the paper, before the acknowledgments or references. If there are no conflicts of interest specified, the statement “No potential conflicts of interest were disclosed” or similar shall be entered in this section.

It is not necessary to disclose a conflict of interest surrounding the institution to which you belong when following procedures laid down by this same institution.

The report should include directorships and advisory roles, stock ownerships, royalties, lecture fees, manuscript fees, research grants, scholarships, sponsorship courses, travel expenses, gifts, and other relevant items.

The presence of a conflict of interest is not an issue. Failure to properly declare a conflict of interest is an issue. The declaration of a conflict of interest at the time of the submission is not for review purposes by the Association but for recording purposes.

VI. Acceptance or rejection of manuscripts

The acceptance or rejection of an original article or review article shall be determined by the Editorial Board based on the examination results of two or more reviewers, one or more editors in the case of short and long reports, and a suitable number of editors for other categories of writing as appropriate.

VII. Preparation of the manuscript

- (1) Requirements by submission type

1. Original Articles

- These should consist of new findings obtained in a highly scientifically valid manner.
- The description should be divided into the following sections: Introduction, Methods, Results, Discussion, Conclusion, and References.
- The length of the original article must not exceed 4,000 words.

2. Reviews

- These should include a comprehensive statement (not a one-dimensional statement) on various issues, which should be a scientifically valid statement.
- The description should be divided into appropriate section for discussion.
- The length of the review must not exceed 4,000 words.

3. Short Reports

a) Case Reports

- These consist of an important research report or an interesting case report in the field.
- The description should be divided into the following sections: Introduction, Case Study, Discussion, Conclusion, and References.
- The length of the short report must not exceed 2,500 words.

b) Symposium Reports

- These should include symposia on important issues in the field, and the details are reported to the wide range of members to stimulate interest.
- The report should include the date and time, location, organizer of the symposium, and name of the speakers.
- The report should describe the purpose of the symposium and the content of each speech in appropriate proportion.
- The length of the symposium report must not exceed 2,000 words.

c) Interview Reports

- The voices of the citizens (consumers) who are receiving the service in this field are contrasted, with contrasting opinions treated fairly.
- The report should include the date and time, location, name of the interviewer, and name of the speakers.
- The report should describe the purpose of the interview and the content of each statement in appropriate proportion.
- Regarding the posting of the name of the speakers and content of their speech, the report must state that the person agrees to be published in the Journal of the Association. This statement must appear in last part of the text, which should contain a section discussing the “consent of the speaker.”
- Discussion by the Editorial Board shall be necessary in cases where there are special circumstances in which it is required that the speaker be made anonymous.
- The length of the report must not exceed 1,200 words.

4. Reports

- These are reports that contribute to the development of the Association and look at officially recognized subcommittees (purpose, annual plans, events, and results), as well as research groups and projects related to the Association.

5. Letters to the Editor

- These should contain concise descriptions regarding what the writers wish to convey to editors and readers, including comments on articles published in this journal and

on important academic topics.

- Submissions should contain a maximum of 250 words, 5 references, and 3 figures.

(2) Language

Manuscripts must be written in the English language.

(3) Document format

For all types of submission, download the submission form from the website of the Association or from the website of the annual conference, and fill in the following content on the first and second pages of the manuscript. However, with regard to Reports and Letters to the Editor, the Abstract and Keywords can be omitted.

Page 1:

- Author(s) (All) A maximum of 10
- Institution (All)

Page 2:

- Title
- Abstract (less than 250 words)
- Keywords (5 or less)

- The text shall be created in Microsoft Word and the font size shall be 10 points. The file name shall be “document.”
- Text shall be written as follows: single space after a comma and double spaces after a period.
- Tables shall be created in Word, Excel, or JPEG, etc., and file names shall be table1, table2, etc.
- Figures shall be prepared in PowerPoint or as grayscale JPEGs of 300 dpi or more, and the file names shall be figure1, figure2, and so on.
- The titles of figures and tables shall be in English and must not exceed 8 words. The descriptions of figures and tables shall be in English and not exceed 10 words.
- As a guide, manuscripts should have a maximum of 10 figures and tables. Note, however, that figures and tables correspond to 150 words (1/8 of a page) and 600 words (1/2 page).
- Attention should be paid to figures and tables that are extremely large in size because they may be difficult to process.
- At the end of the main text, descriptions shall be inserted of conflicts of interest and research grants (name of the grant, if a research grant is received).
- Acknowledgments should be completed as necessary.
- Upload the document (document, table(s), figure(s)) within the submission system.
- The total size of the original files shall be 10 MB or less.

(3) Format for References

See SAGE Vancouver1) for a description of the references.

* Reference styles (accessed June 16, 2021)

1) https://www.sagepub.com/sites/default/files/sage_vancouver_reference_style_1.pdf?_gl=1*17qmse*_ga*MTE4ODA0NTY0NS4xNjI0NDk0Nzgy*_ga_60R758KFDG*MTYyNDQ5NDc4MS4xLjEuMTYyNDQ5NDgyMC4w

VIII. How to submit

Enter the necessary information on the website of the Association or the submission system of the academic association, and submit with the manuscript (document, table, figure) attached.

IX. Precautions after submission

If you have not received a notification of receipt from the Editorial Board within two weeks, contact the following body via e-mail:

Contact information: Secretariat, Journal Editorial Committee, *Japanese Journal of Telemedicine and Telecare Association*

jttajournal@j-telemed-s.jp

X. Author's rights

Copyright of the papers decided to be accepted in this journal (hereafter, “the papers”) shall belong to the Association.

Upon submission, all authors shall be deemed to have agreed that the copyright of the manuscript will belong to the Association if it is accepted for publication. Therefore, the submitter (corresponding author) shall provide all co-authors with these Submission Regulations and agree to the copyright criteria within the Submission System after obtaining their consent.

日本遠隔医療学会雑誌に掲載された論文・記事の著作権の扱い

一般社団法人 日本遠隔医療学会 編集委員会

(2021年6月改訂)

1. 基本姿勢

日本遠隔医療学会（以下、本学会）は、以下を条件に『日本遠隔医療学会雑誌』（以下、本学会誌）に掲載された論文・記事等の機関リポジトリへの公開を認める。

- 1) 公開を認める対象は、発行日から1年を経過した上記の学会誌の誌面を原則とする。
- 2) 機関リポジトリ収録論文等として、出版後の雑誌からPDF化されたもののみを認める。
オリジナルなものに変更を加えてはならない。
- 3) 機関リポジトリからの出版・印刷等については、別途本会の承諾を必要とする。
- 4) 公開にあたっては出典を明示する。
- 5) 本学会誌に掲載された論文等の著作権は本学会に属する。

2. 機関リポジトリへの掲載を求める機関の申請手続き

- 1) 本学会誌に掲載の論文類や記事等を機関リポジトリに登録しようとする機関は、指定の申請書類（本学会 HP よりダウンロード）を本学会事務局に提出し、本学会から許可を得るものとする。

問合せ先：日本遠隔医療学会雑誌編集委員会事務局 jttajournal@j-telemed-s.jp

- 2) 許可の審査は日本遠隔医療学会編集委員会で行う。
- 3) 許可した機関には、本学会事務局から「公開許可証」を発行する。

3. 機関リポジトリへの掲載を求められたときの会員の対応

本学会員が、本学会誌掲載の論文類や記事等の機関リポジトリへの公開を承諾するに当たっては、以下の要件を満たしていることを確認する。

- 1) 公開対象が、上記1. の1)～5)に指定した条件を満たしていること
- 2) 当該機関が本学会誌の機関リポジトリへの登録許可を本学会から得ていること

以上

Copyright Handling of Papers and Articles Published in the *Journal of the Japanese Journal of Telemedicine and Telecare Association*

Editorial Committee of the Japanese Journal of Telemedicine and Telecare Association

(Revised in June 2021)

1. Fundamental stance

The Japanese Journal of Telemedicine and Telecare Association (hereafter, the Association) permits the publication of essays and articles from the *Japanese Journal of Telemedicine and Telecare Association* (hereafter, the Journal of the Association) to institutional repositories under the following conditions.

- 1) In principle, the target of the publication is the abovementioned academic journal and one year has elapsed from the date of publication of the journal.
- 2) Only journal articles that are post-publication and that have been converted into PDF are allowed as recorded papers in the institutional repository.
No changes shall be made to the original.
- 3) For publishing or printing from the institutional repository, separate permission shall be required from the Association.
- 4) The source shall be clearly disclosed.
- 5) The copyright of papers published in the journal belongs to the Association.

2. Application procedures for institutions requiring publication in the institutional repository

- 1) Institutions that intend to register papers and articles published in the Journal of the Association in the institutional repository shall submit the designated application documents (downloaded from the Association's website) to the Secretariat of the Association and obtain permission from the Association.

Contact information: Secretariat, Journal Editorial Committee, *Japanese Journal of Telemedicine and Telecare Association*
jttajournal@j-telemed-s.jp

- 2) Permissions will be examined by the Editorial Committee of the Association.
- 3) The Secretariat of the Association shall issue a public license to authorized organizations.

3. Response of members when asked to post to the institutional repository

In accepting the publication of papers and articles published in the Journal of the Association to the institutional repository, members of the institution shall confirm that the following requirements are met.

- 1) What is intended to be published satisfies the conditions specified in 1) to 5) of Section 1 above.
- 2) The institution concerned has obtained the registration permission to the repository of the Journal of the Association from the Association.